

だいたりしていく所存です。

### 【教育長】

②国スポを大町町の今後に活かせることはないかとのことですが、国スポを一過性のものとしなないための大切な視点だと考えています。大町町のPRパンフレットなどとともにアンケート用紙を会場で配布・回収し、大町町の魅力発信への対応等含めて今後検討していきます。回答いただいた意見については内容によって各課と連携協議し、実現に向け取り組んでいきます。

次にスポーツの観点から、佐賀県が第1回目の国民スポーツ大会が開かれるということ、スポーツの新しいとらえ方である「するスポーツ」「観るスポーツ」「支える(育てる)スポーツ」を重視した取り組みを今後も続けていく所存です。「するスポーツ」ではスポーツ協会と連携しデモンストレーションスポーツで実施します。ウォーキング

や昨年6月に実施したワンバウンドフラバルバレーなど、気軽に参加できるスポーツを町民の方に周知し取り組んでいきます。「観るスポーツ」ではサガン鳥栖とは「大町町サガン鳥栖連携協定」を結び、スタジアム内に「子育て応援大町町」の看板を設置しスポンサー契約を結んでいます。

その関係で年に1回、町民向けのイベントを実施しています。今年は大町保育園でのサッカー教室と保護者向け講演が行われました。バスケットボールの佐賀バルナースとも地域連携協定を結んでいます。

また、来年度はスポーツを観ながらいじめ防止等、教育につなげる事業も考えています。

今後プロのスポーツクラブとの連携をさらに広報し、できたら試合会場に足を運んだり、テレビの前で観戦してもらったりして、応援する側も元気になっていただきたいと考えてい

ます。「支える(育てる)」スポーツでは部活動の地域連携を推進していますが若者のスポーツ文化を保証する活動や遊ゆうスポーツクラブの支援を含め誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境づくりをスポーツ協会と連携し、今後さらに力を入れていく所存です。

### 水害対策について

三根 和之

【議員】 小通幹線水路は、上流から複数の水路を辿ってこの幹線に流水するため、水量が多くなる。そのため、下大町排水機の補完的位置づけとして満ツ江樋管にポンプの設置をお願いしたい。

【町長】 今回の質問は、水害対策のための、補完的位置づけ、という意味での、10か所ある終末樋管へのポンプ増設等に係る提案ということで、お答えさせていたできます。現時点では、10か所中、5か所にポンプを設置している状況です。

これまでの議会でも説明してきましたとおり、令和元年、令和3年の大規模水害は、六角川の水位が計画高水位を超え、越水、決壊の恐れがある場合の緊急措置として国交省が運転調整のため、ポンプの運転をやむを得ず停止した結果、行き場のない増水した内水が六角川下流にある大町町へ流入したものと分析をしています。

これを受け、国としては、大雨時の六角川水位低減を図り、ポンプの運転停止をせずに、確実に内水を排水することを目指して、河道掘削や湛水地整備等の一連の対策を講じている最中で、すべての事業が完了すれば、令和3年出水期と同規模の出水が発生しても、ポンプの運転調整を回避できる効果が見込まれるとしています。

現在、内水の排出能力アップ対策として、大町町でも下瀉排水機場の排水能力を毎秒7.5トンから

10・5トンに増強し、0・5トンの移動式ポンプを導入するなど、流域市町全体で一体的な内水対策を進めているところです。

これらの整備により、下流に位置する大町町内への内水流入量は、相当の軽減が見込まれますし、町内の排水能力も毎秒3.5トン増強します。

大町町としては、国・県・流域市町、それぞれの取組を支持しながら、昨年度策定した「大町町の内水対策に関する取組」に基づき、内水対策を講じていくことを、すでに議会議員にも説明をしているところです。

従いまして、個別の樋管への新たなポンプを設置するのではなく、必要に応じて、先ほど申し上げた「大町町の内水対策に関する取組」において整備した「移動式ポンプ」あるいは、国交省・県のポンプ車等での対応を想定しています。

ただ、国に要望していた中島の現場樋管へのポンプ